

### 取組の背景

- これまで行ってきた居住支援事業を通じ、在宅生活の継続が難しくなった高齢者の施設入居の支援を行う中、持家で独居の場合では、空き家となる可能性が高いと感じています。このため、施設入居相談の段階で、本人や家族の方に意向を確認し、施設探しと同時にご自宅の今後について検討を行い、入居の為の資金計画と合わせてご自宅の利活用の提案も行ってきました。
- その結果、空き家になる前に、既存住宅として売却を支援したり、地域コミュニティの場所、シェアハウスとしての活用や建物解体後駐車場として賃貸の支援を行っています。これからも『活き家』登録推進事業を通じ、空き家の発生抑制に努めてまいります。

### 取組内容・期待される効果

#### 1 空き家ではなく『活き家』という発想

##### 【取組内容】

- 空き家になる主な原因は、そこに住んでいる人が高齢者施設等に入居されるか、逝去された場合のどちらかです。
- 住んでいる方が元気なうちに空き家にしないように、手を打つことが大切です。
- 具体的には、将来の我が家の在り方や想いを『活き家宣言書』に記し、『活き家』登録を行います。
- 『活き家』情報紙や『活き家』見学会への参加を促し、将来の住まいの在り方のイメージを高めます。

##### 【期待される効果】

- 将来利用したい方とのマッチングがしやすく、移行が円滑になり、空き家の発生を抑制できます。

#### 2 住まい、そしてそこに住まう人も経年変化します。

##### 【取組内容】

- 住まいは、「ホームインスペクション（既存住宅現況検査）」を実施することで、現時点での建物の劣化状況を把握できます。
- 住まう人は、地域包括ケアシステムによる、医療や介護、福祉サービスが適切なタイミングで提供される環境を整えることで変化に対応できます。

##### 【期待される効果】

- タイミングを逃すことなく利用や売却が円滑に進み、空き家の発生を抑制できます。



## 空き家になるその前に『生き家』登録推進事業とは

ご自宅の将来のことを気軽に相談ができる「生き家の窓口」から相談が可能です。「生き家」として登録して頂いた方には、情報紙や見学会などを通して、「生き家」としての活用事例や情報を提供します。また、定期的な訪問をすることで、住まいと住まう方の変化を把握し、地域包括ケアシステムによる切れ目のない支援を提供いたします。

我が家を将来、こんな風に使ってくれたら...

- \* 地域交流の場所
- \* 介護や福祉施設
- \* リモートワークスペース
- \* シェアハウス
- \* 子どもや孫に住んでほしい
- \* 売却して老人ホームの入居資金に



「生き家の窓口」

「生き家宣言」

あなたの想いを  
お聞かせください。

「生き家」  
登録

地域コミュニティの拠点や、介護・福祉施設の事業者など、利用したい方とのマッチングも行います。

「生き家」情報紙の発行  
「生き家」見学会の開催

## 住まいと住まう人の変化の把握

住宅は、当然、経年変化しますが、適切に手入れされている家と、手入れされていない家とは違いが歴然です。今まででは考えられないような大規模な災害にも耐えられるよう現時点での建物の状況を把握するために、ホームインスペクション（既存住宅現況検査）や耐震診断を行う必要があります。適切な改修・補強・管理により、大切な住まいを未来へ繋げます。



また、住まう人も歳を取り、病気や転倒、認知症など、生活をする上でのリスクは歳を追うごとに高まります。特に一人暮らしの方は、社会から孤立してしまう可能性が高く、定期的な見守りなどを行い、住まう人の変化を把握するサポートもいたします。

## 地域包括ケアシステムにより、適切なタイミングで住まう人の状況変化に対応します。

